



川崎医科大学附属病院

太陽が西の空へと傾き、日没の時刻が近づいたとき、空一面が幻想的な色に染まった初冬の夕暮れ。

# 年頭所感

川崎医科大学附属病院 病院長

## 園尾 博司

薬より養生



### 健康寿命を大切に

新年おめでとうございます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。本年も何卒川崎医科大学附属病院は、今年で開設43年目を迎えております。開設以来「医療は患者のためにある」、「24時間いつでも診療する」、「先進的かつ高度な医療・教育・研究を行う」という病院の理念を職員一丸となつて継承し、医療の発展と患者さんの診療に努めています。日本は世界一の長寿国となり、平均寿命は女性86.8歳、男性80.5歳です。また、「介護の必要がなく健康に生活できる期間（健康寿命）」も女性75.6歳、男性71.1歳で男女とも世界一ですが、約10年の寝たきりや介護を必要とする

期間があるのが問題です。昔から「薬より養生」といわれています。食生活を見直し、適度の運動をして、肥満や生活習慣病を防ぎ、「健康寿命」を更に伸ばして頂きたいものです。その結果、治療費が節約でき、心身・経済ともに豊かな生活ができることとなります。当院は、本年も患者さんの命と健康を守るため、良好なコミュニケーションや多職種間の連携を大切にして、診療に励みたいと思います。また、地域の病院・診療所の皆さまとの連携をさらに深めつつ、高度な良質の医療を担う責務を果たしたいと思っております。最後にになりましたが、皆さまのご健康とご多幸を心より祈念いたします。

### 園尾病院長による年頭所感

#### 【特集】認知症について

- 診療科紹介 食道・胃腸内科
- 高齢者の心不全について
- 連携医療機関のご案内 ● 声の箱(投書箱)
- イベントのご案内 ● 専門外来を開設しました
- お知らせ ● 次号予告

公開講座に参加ください

## 認知症について

### 神経内科からのアドバイス

川崎医科大学附属病院 神経内科 医長 久徳弓子



### 「ただのもの忘れ」にご注意を

認知症は誰でもかかる可能性のある病気です。認知症の症状の一つに「もの忘れ」がありますが、誰でも年齢を重ねるにつれ、記憶力は少しずつ悪くなり、ある程度の「もの忘れ」は出てきます。しかし、病気による「もの忘れ」もあるのです。では「認知症」とは、どのような状態か。「認知症」とは、もともと正常に発達していた知能が、何らかの脳の障害によって進行性に低下した状態をいいます。つまり、「もの忘れ」を含む様々な認知機能の低下により、仕事や通常の社会生活に支障をきたす状態です。「うっかり約束の時間を忘れてしまった」、「昨日食べた物の内容を一部忘れた」といった程度のもの忘れではなく、「約束したこと自体を忘れた」、「昨日食べたかどうかを忘れた」といった出来事をすっかり忘れてしまいます。普通の人なら当たり前にわかるようなことが、わからなくなる状態なのです。認知症は症状や状態を表す言葉であり、認知症は病名ではありません。認知症をひき起こす病気には、アルツハイマー病や脳梗塞だけでなく、ビタミン不足や慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など治せる病気も含まれます。

神経内科では、もの忘れが心配な方、認知症の治療や介護で悩んでいるご家族を対象に平成13年から専門外来「もの忘れ外来」を開設しています。認知症に対する正しい診断と治療について知りたい方はご予約ください。当院は岡山県より認知症疾患医療センターに指定されており、無料相談窓口もあります。平成27年10月から認知症疾患医療センターのホームページをリニューアルいたしましたので、ぜひご覧になってください。

## 認知症疾患医療センター

### からのアドバイス

川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 吉武亜紀



### 「安心して暮らせる地域とは？」

「年を重ねても、できるだけ自分の力で好きな場所まで過ごしたい。」誰しも願うことではないでしょうか。これからどうなるかわからないことには、人は不安を抱きやすいものです。不安を安心に変えるには、正しい知識から。当院では、平成27年11月に啓発イベント「認知症を知る一週間」を開催、3月には、市民公開講座「もの忘れフォーラム」も予定しています。

しかし、一人でできることには限界があります。病気だけでなく生活のこと、今だけでなくこれからのことも……

「医療」と「福祉」をつなぐ地域連携。パス「倉敷市健康パスポート」(左下記URLのホームページからダウンロードしていただけます)は、本人・家族だけでなく、支援者の想いを繋ぎ、希望を伝え不安を安心に変える取り組みの1つです。右下の写真のRUN伴は、平成26年から当院も参加している誰もが暮らしやすい街のカタチを考えるタスキレーです。認知症ケアのイメージカラー「オレンジ色」がやさしく包む地域づくり。皆さんもどうぞ一緒に。



RUN伴2015 H27.10.23

#### 倉敷市健康パスポート



認知症疾患医療センターのホームページからダウンロードしてください。  
<https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/ninchisyu/about/pasupoto.php>



### もしかして認知症?

## 最近、こんなことはありませんか? 認知症チェックリスト

- 服装がだらしなくなった
- 料理の味付けが変わった
- 財布に大量の小銭が入っている
- 些細なことですぐ怒る
- お金をとられた、という
- 冷蔵庫に貯金通帳がある
- 道に迷う
- 探し物が増えた

#### チェック判定

チェック項目が多い場合、早めに医療機関へ受診することをお勧めします。

#### PROFILE

認知症疾患医療センターはこちら

相談窓口 TEL. 086-464-0661

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:00  
土曜日 9:00～12:30

詳細はホームページをご覧ください。  
<https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/ninchisyu/>



#### PROFILE

食道・胃腸内科のホームページはこちら

詳細はホームページをご覧ください。  
<https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/dept/022.php>



がんの予防・早期診断・内視鏡治療に力を入れています。内視鏡治療における先進的な医療技術や専門病院に特化した最先端の治療を取り入れるとともに、カプセル内視鏡やCTコロングラフィーなど、非侵襲的な精度の高い、患者さんに優しい検査および医療を提供できるように取り組んでいます。



食道・胃腸内科スタッフ  
(前列右から3番目が塩谷部長)

#### 第32回

## 診療科のご紹介

### 食道・胃腸内科



# 高齢者の心不全について

なんだか息切れがする...  
むくみが気になって不安...

## 循環器内科からのアドバイス

川崎医科大学附属病院 循環器内科 部長 上村史朗



### 「高齢者の心不全」

心臓にはいろいろな病気がありますが、悪くなると最終的には心不全と呼ばれる状態になります。普通の心不全は、心筋梗塞や弁膜症などからの心臓病が徐々に悪化して、心臓のポンプとしての収縮力が落ちて肺から血液をくみ出せなくなり、また全身に十分送れなくなる状態です。主な症状には、息切れ、呼吸困難、むくみ、全身倦怠感などがあります。ご自分の心臓に病気があることがわかっていると、患者さん自身や病院もいろいろな面に注意して予防的に対応することができず、最近では心臓病の既往がはつきりしないにも関わらず心不全を発症する高齢の方々が多くなっています。

### 高齢の心不全患者さんが

#### 注意すること

拡張機能が悪くなった状態を含めて高齢の心臓病患者さんでは、生活上のいろいろな要因によって容易に心不全が発症したり悪化したりします。また、高齢者の心不全では、右に書いたような典型的な症状がでないことも多く、さらに肺炎などの他の病気と紛らわしいこともあります。

内科に限らず通院治療をされている患者さんでは、左記(7項目)の心不全予防方法と確認チェックリスト(7項目)のことに注意して日常生活を送ることが大切です。

## 7項目の心不全予防方法と確認チェックリスト

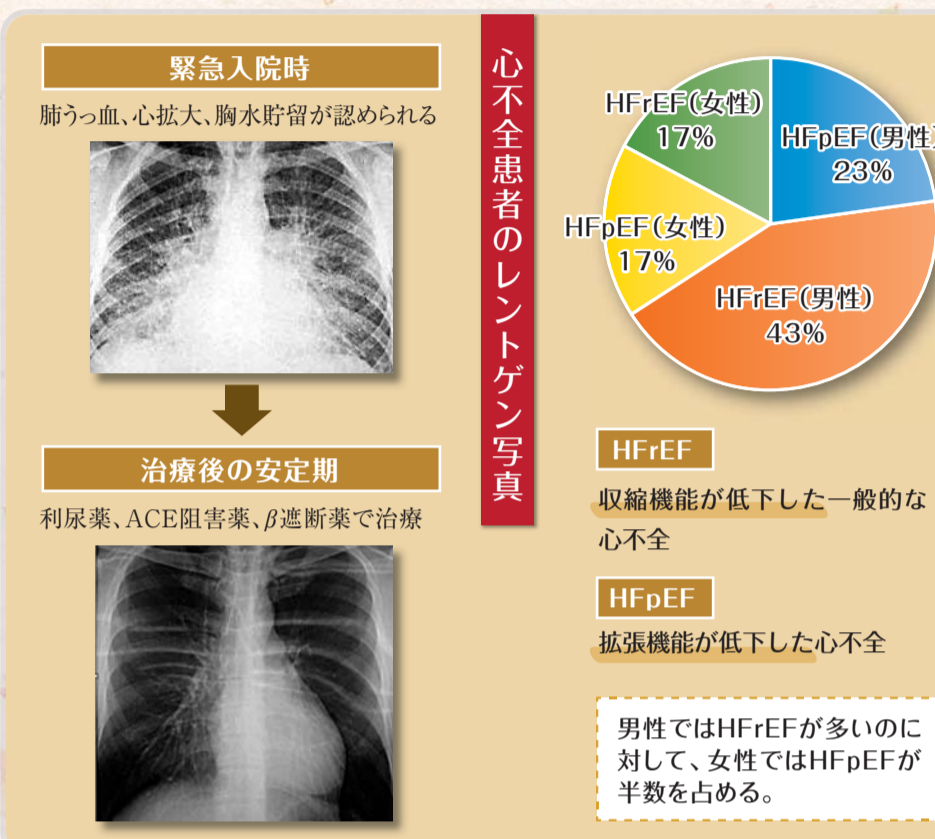
- 1 高血圧、糖尿病などの生活習慣病にかかっていないか検診を受けること
- 2 生活習慣病に対しての治療は積極的、継続的に行うこと
- 3 内服薬の飲み忘れをなくすこと
- 4 塩分の多すぎる食事を避けること
- 5 風邪などの感染症、発熱に気づいたらなるべく早く病院を受診すること
- 6 肉体的な過労、ストレスをなるべく避けること
- 7 息切れ、呼吸困難が出てきたらすぐに家庭医か病院を受診すること

### 日頃からの予防が大切になります

軽くても息切れやむくみなどの症状がある場合には、循環器内科への受診をお勧めします。

### 医療関係者の方へ 循環器内科 ホットラインの開設

医療関係者を対象とする直通電話で、24時間相談に応じるホットラインを平成27年7月に開設しました。心筋梗塞や心不全など命にかかわる状態にはヘリコプター搬送を含めた24時間で対応できる体制を構築して、地域医療に貢献しています。



### 当院に入院した心不全患者の原因(150症例)

### 固くなってしまった心臓

個人によって程度には差がありますが、高齢者では、加齢に伴って心臓の筋肉に肥大や線維化が起こってきます。単に年齢だけが問題なのではなく、高血圧、糖尿病、腎機能障害などの軽い病気が長く続くことで、心臓のゴムが古く固くなったような状態(コンプライアンスの低下)になって、心臓に血液を溜めるタイミングでうまく広がらないような状態になっているとも言えます。最近では、このような状態を拡張機能不全による心不全(HFpEF)と呼んでいます。HFpEFは高齢の女性に多い特徴があります。

### 連携医療機関のご案内

泌尿器科

## じょう泌尿器科クリニック

この度、倉敷市松島マルナカマスカット店2Fにて「じょう泌尿器科クリニック」を開設しました。私は、千数年前にわたり川崎医科大学附属病院で臨床・研究・教育に従事し、大変多くの経験をさせていただきました。これまでの経験を生かし、近隣の病院と密接な連携を図り、信頼されるクリニックとして心のこもった「やさしくてわかりやすい医療」をモットーに、質の高い医療を皆様へ提供できるよう励む所存です。泌尿器科はとくに数層の高さを感じたりする方もおられると思いますが、私自身、人と対話することが大好きなので、どうぞお気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

所在地 岡山県倉敷市松島1154-2 マルナカマスカット店2F  
お問合わせ ☎ 086-461-1688

休診日 木曜日、日曜日、祝日

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00-17:00	○	○	○	○	○	○	○

※受付開始は診療開始の15分前となります。

院長 常 義政 先生

## 声の箱 (投票箱) NO.2

当院では、皆さまからいただいたご意見やご要望を反映し、良い病院作りを推進するために「声の箱」を設置しています。寄せられたご質問と回答をご紹介します。

### 「声の箱」設置場所

本館2階(入退院受付横)  
北館2階(エレベータホール横)  
病棟デイルーム  
各階(西館棟は奇数、本館棟は偶数階に設置)

### 患者さんの声 1

外来待合いで、大きな声で携帯電話を使用されている人がいます。通話可能エリアと回答をご紹介します。



### 患者さんの声 2

車イス用トイレに入った時、煙草の臭いや煙が籠った感じがしてすぐに退席しました。敷地内禁煙になっていないはずですが、病院玄関や駐車場、1階自動販売機付近にも、煙草の吸殻が捨てられていることがあります。当院では、病室・トイレを含め敷地内全面禁煙となっています。禁煙について協力をお願いします。※トイレは、1日4回清掃と巡回を行っています。



### イベントのご案内

**2月 第4回 GIST患者会**

日時 平成28年2月20日(土) 13:30~16:00

参加無料 場所 川崎医科大学 校舎棟7階M-702教室

お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111 (内線22612)

詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/canc/04-03.php

**3月 第18回がん市民公開講座 膵がんの診断と治療**

日時 平成28年3月5日(土) 13:30~16:00

参加無料 場所 川崎医科大学 校舎棟7階M-702教室

お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111 (内線22612)

詳細ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/canc/04-03.php

**3月 市民公開講座 第14回もの忘れフォーラム 今日からできる認知症予防～発症予防と進行予防～**

日時 平成28年3月5日(土) 13:15~16:10

参加無料 場所 くらしき健康福祉プラザ

お問合わせ 認知症疾患医療センター 086-464-0661

詳細ホームページ https://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/ninchisyouboutforamu.php

### お知らせ

### 毎月第1水曜 がんサロンのご案内

当院では、がんセンター活動の一環として毎月第1水曜日にがんサロンを開催しています。がん患者さんやご家族の方は多くの悩みや不安を抱えられています。治療に関することは担当医師と相談して方針を決められますが、その他に仕事や家族のこと、将来のこと、お金のことなど個別の悩みや、漠然とした不安を抱えられていると思います。患者さん同士で、あるいは私たち医療者とゆっくり話をしてみませんか。参加した患者さんからは「参加してみよかったです」との多くの声が寄せられています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

毎月第1水曜 事前申込不要

### がんサロンの開催について

参加無料 事前申込不要

日時 毎月第1水曜日(祝日を除く) 13:00~15:00 ※途中からの入退室も可能です。

対象 がん患者さんやそのご家族の方

お問合わせ 患者診療支援センター 086-462-1111 (内線22612)

ホームページ http://www.kawasaki-m.ac.jp/hospital/canc/04-04.php

場所 病院本館2階 セミナー室1 (玄関を入ってすぐ左、患者図書室の隣です)

### 専門外来を開設しました

### 毎週水曜 療養支援外来

医師、看護師、薬剤師等の医療スタッフが、がん患者さんの療養における支援をさせていただきます。各診療科医師の病状説明の際に看護師が同席し、診療後に「療養支援外来」で継続的に対応することも可能です。

相談内容 ■日常生活や治療における不安  
■治療に関する情報提供など

診療日 毎週水曜日の午後

診療場 2階総合外来

診療対象 ■当院に入院経験のあるがん患者さん及びご家族  
■当院通院中のかん患者さん及びご家族

お問合わせ 看護管理事務室(内線24161)

### 次号予告

## Main 乳がんと検診について

【診療科紹介】脳卒中科

- 「チーム医療最前線」
- 病院の疑問解消!あれこれ
- 連携医療機関のご案内
- イベントのご案内
- 次号予告

掲載内容は予告無く変更される場合があります。ご了承ください。